

平成19年12月6日

報道機関 各位

東 北 大 学

第2回日仏ジョイントフォーラム

「世界をリードする科学技術者の育て方——新エリート養成への日仏の挑戦——」のご案内

2007年は東北大学（仙台、井上明久総長）にとって特別の年になりました。まず、本学は本年創立100周年を迎えました。さらに、ダブルディグリー・プログラム（双方の大学院から同時に学位を授与される課程）の協定を結ぶなど、これまで本学と極めて緊密な協力関係を築いてきたフランスの2つの名門グランゼコール*である *Ecole Centrale de Lyon*（フランス国立中央理工科大学院リヨン校）と *INSA-Lyon*（フランス国立リヨン応用科学院）が、2007年にそれぞれ創立150周年、50周年を迎えました。3校は、これを記念して、本年2月にフランス・リヨンを第1回日仏ジョイントフォーラムを開催致しましたが、下記のように、来る12月11日に東京で第2回日仏ジョイントフォーラム**を行いますので、ご案内申し上げます。

* フランスには、大学（ユニヴェルシテ）とグランゼコールという2種類の高等教育機関があります。このうち、グランゼコールは、徹底した少人数教育によってエリートを養成する大学院大学で、フランスの政・官・財のトップ層の多くがグランゼコール出身者で占められています。

** 本フォーラムは、従来から本学が日本経済新聞社と共催で行っているセミナー・シリーズ「東北大学100周年記念セミナー——科学が次の100年で創り出せること——」の第8回も兼ねています。

記

日時：2007年12月11日（火） 13：00～17：00

場所：日経ホール（東京・大手町）

テーマ：世界をリードする科学者技術者の育て方——新エリート養成への日仏の挑戦——

本件に関するお問い合わせ先

東北大学総務部百周年記念事業室

Tel：022-217-5059 又は 022-217-5905

背景

グローバル化、ハイテク化が進む今日、優れた専門知識、国際性に加えて、社会や組織を改革・リードする能力を備えた新たなエリートの育成が求められています。そのような現代において、世界・日本・フランスそして各企業や官庁が直面している問題を解決し指導していく能力を有する新たな科学技術者像とはどのようなものなのか、又、そのようなエリート科学技術者をどのようにすれば育成できるのかを論じ合います。

スピーカー

まず、フランス側の2校の学長アラン・ストーク氏とパトリック・ブルジャン氏が両校の紹介を行った後、ソニーの中鉢良治社長と世界有数の石油会社であるトタルの北東アジア代表ジャック・シャンベルロワール氏が、日仏産業界の立場から上記のテーマについて論じます。そして、フランスの科学哲学の権威、イヴ・ミシヨ氏（元フランス国立美術学校学長）、東北大学元総長で小泉首相のサイエンス・アドバイザーを務めた阿部博之氏（前総合科学技術会議議員）、現在サルコジ大統領の科学技術顧問を務めているセルジュ・フヌイユ氏（フランス科学技術大統領諮問会議座長）が、今後の国の科学技術政策のあり方も交えて講演します。

共同コミュニケの発表

フォーラム終了後直ちに、同会場において、3校の総長・学長が、今後、3校が教育・研究・産学連携の3分野にわたる強固な国際的アライアンスを構築し社会の発展に貢献することを謳った共同コミュニケに署名する予定です。その中で、3校は、これから、日仏の研究助成機関・地方自治体とも協力しながら、リヨン・仙台双方に、ヨーロッパおよび日本の、材料科学・機械工学等の分野の主要研究拠点への発展を目指す「インターナショナル・ジョイント・ラボラトリー」（国際共同研究施設）を設置する準備に取り掛かることも述べることになっています。

第4回国際産学連携フォーラムの開催

上記フォーラム開催の後、3校は、引き続き12月13日、14日に仙台市において、国際的産学連携のあり方を探る「第4回国際産学連携フォーラム」を開催することになっています。来年2008年は日本とフランスが外交関係を結んでから、150年目に当たりますが、本フォーラムは「日仏交流150周年」の開始を飾るイベントとして認定されています。

別紙資料： フォーラム・プログラム

本フォーラムの紹介ウェブ：<http://www.tohoku.ac.jp/seminar100/>

フォーラムプログラム

第8回東北大学100周年記念セミナー（第2回日仏ジョイントフォーラム）
(Ecole Centrale de Lyon 150周年, 東北大学 100周年, INSA-Lyon 50周年記念)
8^{ème} Séminaire pour le Centenaire de l'Université de Tohoku
2^{ème} Forum Commun France - Japon
Ecole Centrale de Lyon 150^{ème}, Université de Tohoku 100^{ème} et INSA-Lyon 50^{ème} Anniversaire

世界をリードする科学技術者の育て方 —新エリート養成への日仏の挑戦—

La formation des ingénieurs d'excellence à l'ère de la globalisation

今回のセミナーでは、本学及びフランスのトップクラスの2つの理工系グランゼコールの学長に加えて、日仏の産業界、研究教育政策機関を代表する方々が、グローバル化が深化する現代において、世界・日本・フランス、そして各企業や官庁が直面している問題を解決し、指導していく能力・識見を備えたエリート科学技術者像とはどのようなものなのか、又、そのようなエリート科学技術者は、どのようにすれば育成できるかを論じます。

【開催日時】 2007年12月11日（火）13:00 - 17:00（開場 12:30）

【会場】 日経ホール（日本経済新聞社東京本社内）

【主催】 Ecole Centrale de Lyon, INSA-Lyon, 東北大学, 日本経済新聞社

【後援予定】 外務省, 文部科学省, 在日フランス大使館

【対象】 一般, 産業界, 同窓生

【募集人員】 600名

【講演者】

中 鉢 良 治（ソニー株式会社代表執行役社長 東北大学卒）
阿 部 博 之（東北大学元総長・前総合科学技術会議議員）
Serge FENEUILLE（フランス科学技術大統領諮問会議座長）
Yves MICHAUD（哲学者・元フランス国立美術学校学長）
Jacques Chambert-Loir（トタル 北東アジア代表）

日仏同時通訳付き

【プログラム】

司 会 滝 順 一 (日本経済新聞社編集委員)

〈主催者挨拶〉 13:00～13:15

Christophe Penot 駐日フランス大使館公使
東北大学総長 井上 明 久

〈挨拶およびフランスのエンジニア養成のグランゼコール紹介〉 13:15～13:55

Alain Storck 学長 (INSA-Lyon)
Patrick Bourgin 学長(Ecole Centrale de Lyon)
(補足コメント：Ecole Centrale Paris 学術部長、Dominique Pareau)

〈講 演〉 14:00～16:45

1. 「創造と変革を担う人材育成とは ー高等教育に期待することー」
ソニー株式会社取締役代表執行役社長兼エレクトロニクス CEO 中鉢 良治
2. 「21世紀の産業に必要な技術者とは？」
トタル北東アジア代表 Jacques Chambert-Loir
- 休憩 15:00～15:15 (15分)
3. 「テクノサイエンスのすすめ ー知識社会が求める新たなエンジニア像ー」
哲学者・元フランス国立美術学校学長 Yves Michaud
4. 「日本における勉学の文化、これまでとこれから」
元東北大学総長、前総合科学技術会議議員 阿部 博之
5. 「頭脳流出時代のエリート教育 ー国際競争と国際協力ー」
フランス科学技術大統領諮問会議座長 Serge Feneuille

〈コミュニケ調印式及び閉会挨拶〉 16:45～17:00

第4回国際産学連携フォーラム

—— ジョイントラボラトリー設置に向けて ——

1. 日時・場所：平成19年12月13日（木）9:00-18:00 東北大学片平さくらホール
14日（金）8:00-11:00 同上 流体科学研究所 大講義室
2. 主催：東北大学，フランス国立応用科学院リヨン校，フランス国立中央理工学校リヨン校
3. 後援：仙台市，宮城県，東北経済産業局，フランス大使館，ローヌ・アルプ地域圏企業開発局東京事務所
4. 趣旨：東北大学，フランス国立応用科学院リヨン校（INSA-Lyon），及びフランス国立中央理工学校リヨン校（ECL）の共催により第1回（平成17年1月），第2回（平成17年11月）の国際産学連携交流会をリヨンで実施，国際的な産学連携活動を推進するための情報交換を行い，第3回（平成18年11月）は東北大学片平キャンパスにおいて開催した。
「第4回国際産学連携フォーラム——ジョイントラボラトリー設置に向けて——」は，以下の5分野において3機関の専門分野同士の学術交流を深め，更に地方自治体・産業界との連携も踏まえたジョイントラボラトリー設置に向けた実質的な連携構築を図るための情報交換・ディスカッションを行う。
 1. Biosciences and Engineering（バイオサイエンス、工学）
 2. Durability Reliability in Energy and Transportation（エネルギー、輸送機関連産業）
 3. Fabrication of Nano and Micro Scale Materials and Devices（ナノ・マイクロ材料/デバイス産業）
 4. Fluid Dynamics（流体力学）
 5. Tribology（摩擦学）

併せて、12月11日に日経ホールで開催される「第2回日仏ジョイントフォーラム」終了後、①研究者・学生の交流、②共同研究の実施、③講義・シンポジウムの開催、④学術情報・刊行物の交換の実施、及びこれらの活動を支援するために日・仏国内及び国際的な援助機関から基金獲得に協力することを目的としたジョイントラボラトリー設置に係る覚書（Memorandum of Understanding）を東北大学、INSA-Lyon、及びECLの3機関で締結する。

第4回国際産学連携フォーラム

—— ジョイントラボラトリー設置に向けて ——
プログラム

1. 日時・場所：平成19年12月13日（木）9:00-18:00 東北大学片平さくらホール
14日（金）8:00-11:00 東北大学流体科学研究所大講義室

2. 開催日程：

平成19年12月13日（木）

09:00-12:00 全体会議

会場：片平さくらホール

議長：庄子哲雄 理事（研究・国際交流担当）

共同議長：渡辺 豊 准教授（工学研究科）

09:00-09:30 挨拶：

東北大学：井上明久総長

仏・国立中央理工科大学院学リヨン校（ECL）：Patrick Bourgin 学長

仏・国立リヨン応用科学院（INSA-Lyon）：Prof. Jean Yves Cavallé 教授

09:30-12:00 現状と課題

仏・国立科学研究センター（CNRS）日本・韓国事務所：Ntacha Aveline 所長

「LIA Tohoku concept」（10分）

経済産業省東北経済産業局：野田 耕一 地域経済部長（10分）

以下の5分野に関する3機関からのプレゼンテーション（10分×2名×5）

13:00-18:00 3機関による5分野の平行セッション

（共同研究、ジョイントラボラトリー設置に向けて）

1. Biosciences & engineering (Biosciences)
2. Durability Reliability in Energy and transportation
3. Fabrication of Nano & Micro Scale Materials & Devices
4. Fluid Dynamics
5. Tribology

19:00-21:00 東北大学総長主催夕食会

会場所：メトロポリタンホテル21階「銀河」

平成19年12月14日（金）

会場：流体科学研究所大講義室

議長：庄子哲雄 理事（研究・国際交流担当）

共同議長：渡辺 豊 准教授（工学研究科）

08:00-09:00 5分野の平行セッションまとめ（全体会議発表準備）

09:00-11:00 全体会議（総括及び閉会の辞）

5分野のプレゼンテーション（10分×5）

LIA (International Associated Laboratory)の全体図に関するプレゼン

閉会の辞